

子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種についての大切なお知らせです

子宮頸がんは子宮の入り口にできる「がん」で、**予防できるがん**です。

主にヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因です。自覚症状がないまま進行しますが、予防には、HPV 感染予防と若い時期からの定期的ながん検診が有効です。

毎年、1 万人の女性が子宮頸がんになり、3 千人が亡くなっています。患者さんは 20 歳代から増えて、治療で子宮を失ってしまう人も千人を超えています。そのため、早い時期からの予防が大切です。

HPV は、性交経験のある人の 8 割前後が感染すると言われていて、すぐく身近にいるウイルスです。

HPV ワクチンは、この HPV 感染を予防するワクチンで、セクシャルデビュー前に接種すると特に効果的です。HPV 感染を 9 割以上予防し、子宮頸がんの発症も 8 割以上抑制できると言われています。

HPV ワクチンは定期接種（小学校 6 年～高校 1 年生）となっていて今後も継続されます。

但し、2013 年から一定期間、このワクチンの接種を中断していた時期がありました。副反応が懸念されて調査を行っていたためです。この期間に本当は接種をすべき対象だった方々（**1997 年から 2007 年生まれ、現在 16 – 27 歳**）のために、国は救済措置として**令和 7 年 3 月末の期限で公費負担（接種費用無料）によるキャッチアップ接種**を行っています。間もなく期限となりますが、まだ一度も接種を受けていない方が、横手市だけで 1400 人おられます。

令和 7 年 3 月 31 日までに 1 回でも HPV ワクチンの接種を受けていただければ、残り 2 回の接種は 4 月以降でも無料で接種できることになっています。是非、この機会に、キャッチアップ接種を受けていただき、HPV 感染と子宮頸がん発症の予防を行いましう。

キャッチアップ接種の詳細と協力医療機関名簿は以下の QR コードからご覧いただけます。

【問合せ】 横手市役所健康推進課 0182-33-9600
横手市医師会事務局 0182-23-7522

